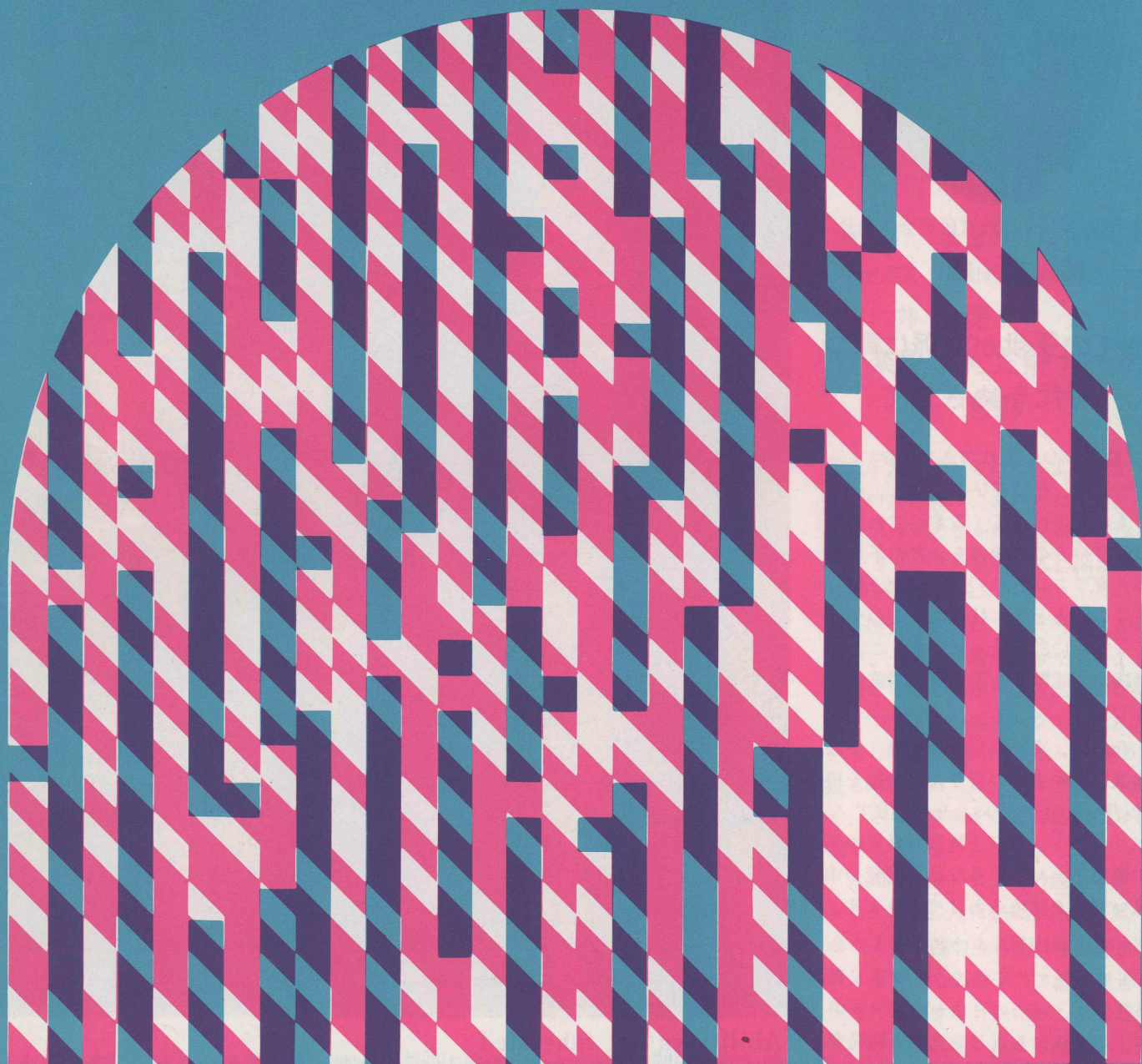


2,000人の児童による

バイオリン ピアノ・セロ 大合奏 箏・フルート

Violin Piano Cello Koto Flute Concert by 2,000 Children



TALENT EDUCATION

主催・社団法人 才能教育研究会

後援・財団法人 幼児開発協会

賛助・財団法人 正派邦楽会

協力・サンケイ新聞 フジテレビ 文化放送 ニッポン放送



日本武道館大ホール（東京九段）
昭和47年3月26日（日）午後2時

NIPPON BUDOKAN TOKYO
MARCH 26 1972 p.m.2.00



社団法人 才能教育研究会 会長

鈴木 鎮一

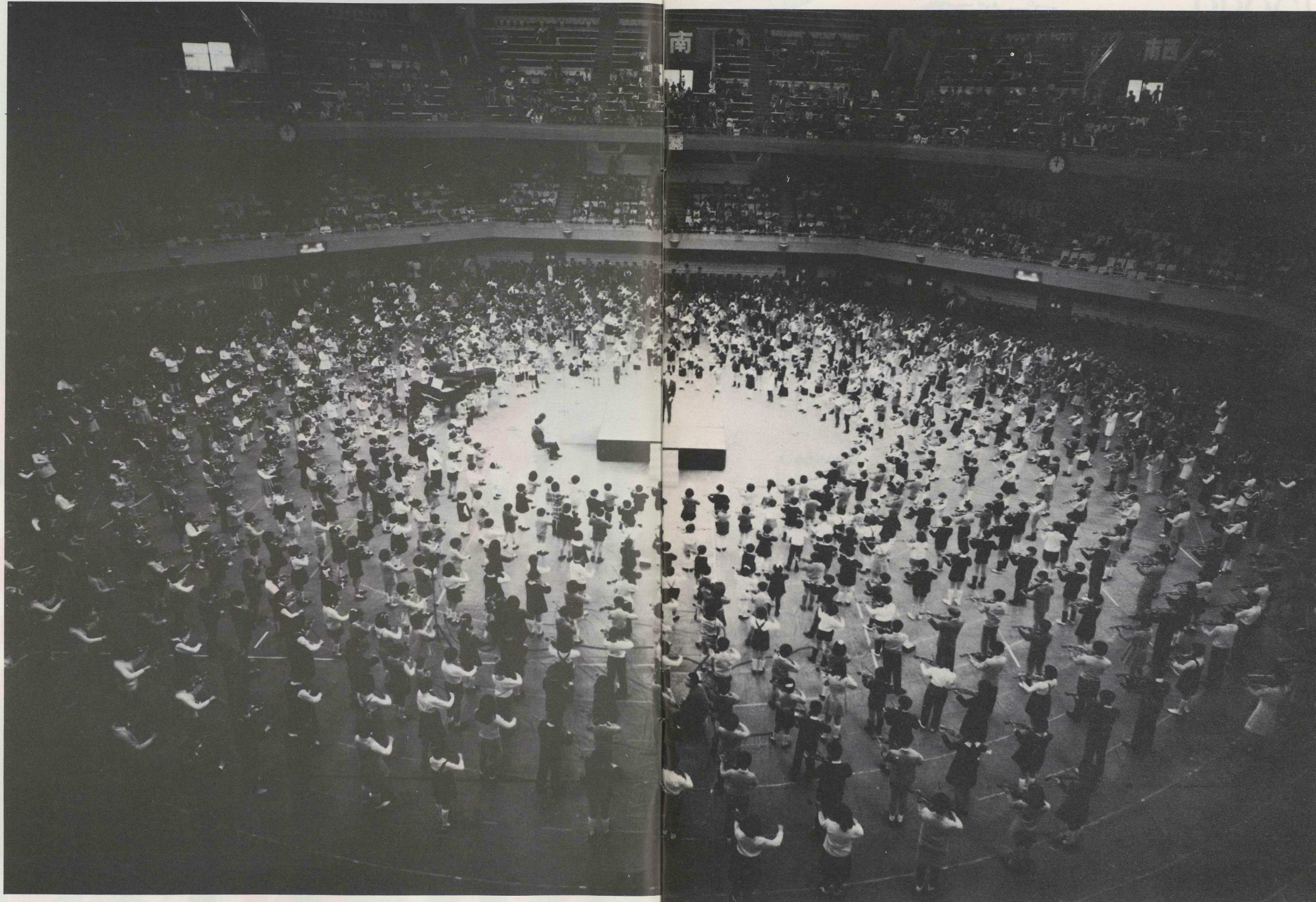
総ての子供が立派に育つ 時代をめざして

能力も心も生れつきではない
育て方ひとつ

人として生れてくるすべての子供の教育のその可能性を、「どの子も育つ、育て方ひとつ」と絶叫しながら、多くの同志と共に社会に訴えつづけて、すでに25年経った今日、ここに第18回才能教育全国大会を開催致すのです。

今年は、正派邦楽会（院長 中島雅楽之都先生）の皆さんの参加を得て、箏、バイオリン、セロ、ピアノ、フルート、及び才能教育幼児学園の書道と、いろいろな幼児開発の巾広い発表を試みるわけでありませう。

母国語を自由自在に話すようになる世界の総ての子供達、どの子も育つ筈です。いつの日にか総ての子供が、心も能力も正しく立派に開発育成される時代をめざして、私共のこの運動は休みなくつづけられてゆくことでしょう。



Ability is not inherited

I have spent half of my life proving that abilities are not inherited. I first became aware of this truth forty years ago and it has been my innermost drive and desire since then to educate 3 and 4 year old children. As I am not a professionally trained psychologist or educator, I base my ideas on my last 40 years experience... and those experiences continue to support the fact that abilities are not inherited. The theorization of what I have believed and practised for the last 40 years have developed into a method, now known in the U.S.A. and Canada as the Suzuki Method.

I think there exists what I call the "Law of Ability." My first step towards the realization of this "Law of Ability" came about 40 years ago when I observed that all Japanese children have the marvelous ability to speak Japanese fluently. The following factors contribute to this "Law of ability":

1. Certainly in young children who are speaking Japanese, one of the human abilities is already well developed.

2. The ability to learn a mother tongue is highly developed because children grow up in good situations and under good conditions with the right stimulation.
3. A key to the development of human ability must be the conditions and methods in which and by which every child is taught his mother tongue.
4. There have been many failures in child education in all fields except education of the mother tongue. How ridiculous it is to make excuses for these failures by blaming them on the belief that ability is inherited. Such apologies we must not accept.
5. All children, by learning to speak their mother tongue, continue to prove that education can develop ability.

From the above mentioned points I started to study and test the development of human ability, i.e., I began to investigate the circumstances, environment and method necessary for education of the mother tongue. (extract from Ability Not Inherited)



財団法人 幼児開発協会理事長

社団法人 才能教育研究会理事長

井 深 大

音楽をこえた能力への 感動

二千人のこどもたちによるバイオリンの大合奏は、まのあたりに、その音の奔流のなかに身をおいてみないかぎり、この感動を人に伝えることができない。

全国から集った二千人のこどもたちが、一回の準備演奏もせずに、水の流るる如く、雲の湧き出づるが如く、二千丁の楽器をかなで、それが一本の河となり、滝となって、流れ、逆る時、私たちは、バイオリンをこえ、さらに音楽をこえた感動におし流されてしまう。

人間の、幼いこどもの能力というものをそこにみた感動である。日本人のこどもはみんな自由自在に日本語をあやつる。

スズキ・チルドレンのこどもたちは、日本語を習いおぼえると同じように、音楽を自分のものにする。らくらくと日本語をしゃべるように、バイオリンをらくらくとひく。日本語ではびっくりしないおとなたちは二千人のバイオリンをきいてはじめて驚嘆する。

プログラム

開会の辞 ■ 大会委員長 本多正明
君が代演奏
卒業証書授与 ■ 会長 鈴木鎮一
お祝いの言葉 ■ 名誉会長 徳川義親
お祝いの言葉 ■ 理事長 井深 大

- アレグロ (バイオリン合奏) 1 フィオッコ
協奏曲イ短調第一楽章 (バイオリン合奏) 2 バッハ
ディベルティメントニ長調K136第一楽章 (弦楽合奏) 3 モーツァルト
アルルの女より間奏曲 (フルートと弦楽合奏) 4 ビゼー
飛躍 (箏合奏) 5 久本玄智
六段の調べ (箏合奏) ■ 八橋検校
ジーク (ピアノ独奏) 6 バッハ
トルコ・マーチ (ピアノ独奏) ■ モーツァルト
メヌエット (ピアノ独奏) ■ パデレフスキイ
火祭のおどり (ピアノ独奏) ■ ファリア
無窮動 (バイオリン合奏) 7 ボーム
二つのバイオリンのための協奏曲第一楽章 (バイオリン合奏) 8 バッハ
協奏曲イ短調第一楽章 (バイオリン合奏) 9 ビバルディ
キラキラ星変奏曲 (セロ合奏) 10 鈴木鎮一
アレグロ (セロ合奏) ■ 鈴木鎮一
ロング・ロング・アゴー (セロ合奏) ■ ベイリー
白鳥 (セロ合奏) ■ サン・サーンス
習字 ■ 松本幼児学園児童
アレー (バイオリン合奏) 11 バッハ
ユーモレスク (バイオリン合奏) 12 ドボルザーク
二人のてき弾兵 (バイオリン合奏) 13 シューマン
アレー (バイオリン合奏) 14 ヘンデル
ガボット (バイオリン合奏) 15 ゴセック
メヌエット第二番 (バイオリンと箏の合奏) 16 バッハ
無窮動 (バイオリンとフルートの合奏) 17 鈴木鎮一
むすんでひらいて、アレグロ (バイオリン合奏) 18 ルソー・鈴木鎮一
こぎつね、蝶々 (バイオリン合奏) 19 ドイツ民謡
キラキラ星変奏曲 (バイオリンと箏の合奏) 20 鈴木鎮一
蛍の光 (全員で合唱と合奏) ■ スコットランド民謡

PROGRAM

Greeting ■ Chairman M. Honda
National Anthem
Graduation Ceremony ■ President S. Suzuki
Words of Congratulation ■ Hon. President Y. Tokugawa
Words of Congratulation ■ Board of Director M. Ibuka

- Allegro (violin) 1 Fiocco
Concerto a min. 1st mov. (violin) 2 Bach
Divertimento d maj. K136 1st mov. (strings) 3 Mozart
L' Arlésienne (flute & strings) 4 Bizet
Hiyaku (koto) 5 G. Hisamoto
Rokudan (koto) ■ Yatsushashi-Kengyo
Giga (piano) 6 Bach
Turkischer Marsch (piano) ■ Mozart
Menuetto (piano) ■ Paderewski
Ritual Fire Dance (piano) ■ Falla
Perpetual Motion (violin) 7 Bohm
Concerto d min. 1st mov. for Two Violins (violin) 8 Bach
Concerto a min. 1st mov. (violin) 9 Vivaldi
Twinkle, twinkle little Star-Variations (cello) 10 S. Suzuki
Allegro (cello) ■ S. Suzuki
Long, Long ago (cello) ■ Bayly
The swan (cello) ■ Saint-Saëns
Calligraphy ■ Matsumoto Kindergarden
Bourrée (violin) 11 Bach
Humoresque (violin) 12 Dvorak
The two grenadiers (violin) 13 Schumann
Bourrée (violin) 14 Händel
Gavotte (violin) 15 Gossec
Menuetto 2nd mov. (violin & koto) 16 Bach
Perpetual Motion (violin & flute) 17 S. Suzuki
Go Tell Aunt Rhody Allegro (violin) 18 Rousseau. S. Suzuki
Lightly Row. Song of the Wind (violin) 19 German Folk Song
Twinkle, twinkle little Star-Variations (violin & koto) 20 S. Suzuki
Auld Lang Syne ■ Scotland Folk Song

大会委員 委員長 本多 正明 実行委員長 宮沢 進 奥村偵三郎
副委員長 田中 金重 委員 高杉 忠一 松井 宏中

広瀬 八朗 山本 真嗣 大会演奏 鈴木 静子 セロ合奏 征矢野ゆり
會 則道 水野 明夫 ピアノ伴奏 片岡 治子

海外からのお客様

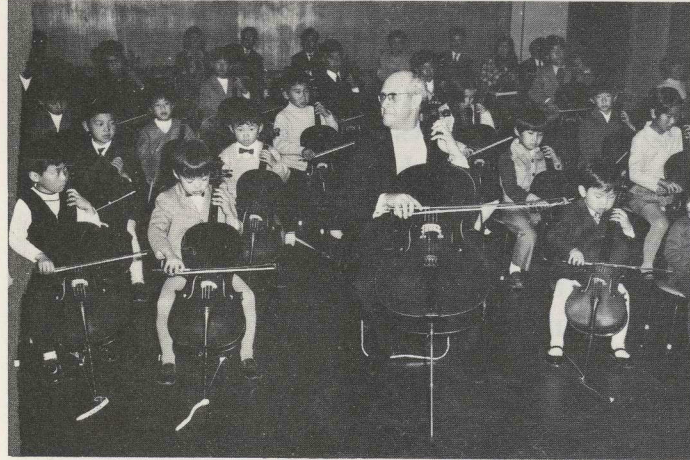
5月4日東京上野の日本美術協会ホールで、バイオリンの巨匠メニューイン先生の歓迎コンサート。10月30日長野市民館で、有名なセロのロストロポービッチ氏と甲信地区のセロ生徒の交歓演奏。11月3日文化の日、松本市における往年の名歌手バリトンのヒュッシュ先生表彰式での祝賀演奏。11月15日・22日には、高名なイタリアのイ・ムジチ合奏団とあって世界最高とうたわれたヴィオラのプリムローズ先生ご夫妻を本部会館にお迎えしました。



ゲルハルト・ヒュッシュ



ユーディ・メニューイン



ムスチフラフ・ロストロポービッチ



ウィリアム・プリムローズ



イ・ムジチ合奏団

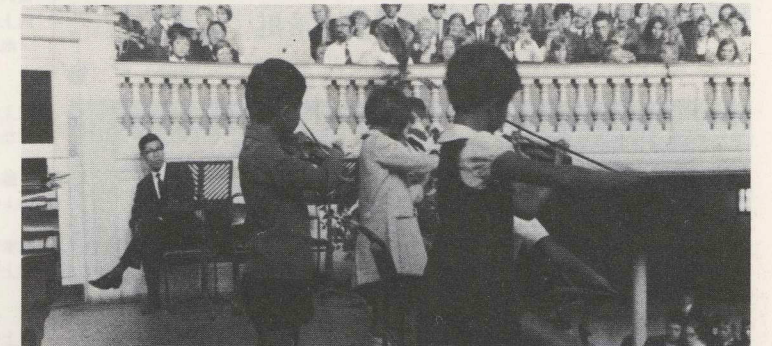
欧米への演奏旅行

(第7回)9月28日～11月3日

9月30日のスウェーデンのストックホルムを皮切りに、アイルランドのコーク、イギリスではロンドン・パーミンガム・ウィンスフォード・シェフィールド・エアの五ヶ所。大西洋を渡り、カナダの西海岸ではアンチゴーニシュとニューファウンドランドのセント・ジョンズ、そしてアメリカでは10月14日のオーシャンサイドから、リッチフィールド、ニューヨーク、ミッドヴィル、クリーヴランド、バーリエン、セント・ポール、フラン克福ード、バークレイを経て、ハワイのヒロで全日程を終了しました。生徒の演奏と先生方のワークショップは、各国各都市において、今回も大変な反響で、才能教育の真価を如実に示しました。今回のメンバーは、広瀬八朗、伝田充正、森ゆう子、田中玲子の四先生とピアノ伴奏の柳田三佐子さん、アメリカ旅行からは理事で医師の上条大輔先生、演奏生徒はバイオリン8名、セロ1名、ピアノ1名の10名でした。



演奏旅行のメンバー



パーミンガムでのコンサート



ストックホルムの音楽学校におけるワークショップ

指導者研究大会

5月17日～22日

この数年、天城・宇治・妙高と会場を移してきましたが、今年は二度目の福島、新緑につつまれた飯坂温泉の静かな一角で5泊6日、北海道から高知まで140余名の先生方が出席、鈴木会長を中心に才能教育法の徹底的な研究が行われました。自然のふところにつつまれ、寝食を共にし、談笑し、温泉につかり、子供たちへの教育の確信を次第に深めていくことは大きなよろこびでした。